



新年あけましておめでとうございます

本年もよろしく願いいたします



冬号

令和4年1月

新年あんず仕事始めの6日木曜、久しぶりに東京で雪が降りました。数年前に降った大雪の時、職員総出で駐車場の雪かきしたことを思い出します。

本来であればこの時期はインフルエンザが流行し、あんずも大忙しなのです。昨年に引き続き、今のところその兆候は見られませんが、この冬も風邪や胃腸炎、溶連菌といったお子さんの利用が目立ちそうです。(昨年は3月～RSのお子さんが急増し、5月くらいまで続いていたので今後何が起こるかわからないですが・・・)



感染性胃腸炎

あんずでは昨年末、ノロウイルス等、感染性胃腸炎のお子さんが立て続けに入室していました。その為、『ついに胃腸炎の波がやってきたか?!』と思ったところで、年末年始の長期休みに突入。年明けには落ちていた為、安堵しました。胃腸炎は本当に辛いです(特に嘔吐を伴う場合)。もちろんかかったお子さんご本人が一番辛いと思うのですが、看病する大人も大変な思いをします。自分や家族がうつらないようにと、消毒や掃除をしながら、苦しむ子どもを看なくてはなりません。「昨晚は私もほとんど眠れていません」とすっかり疲れた様子であんずにお子様を預けに來られ、そのまま仕事へ向かわれる保護者の方を見ると、『本当に無理しないでくださいね。』と心から思います。

小さいお子さんでは『気持ち悪い』の感覚がよく分からず、上手く伝えることが出来ない為、大抵その時は突然やってきます。そうした時焦らないように、ちょっとしたポイントを頭の隅に置いておくとも良いかもしれません。



POINT

- ・感染性胃腸炎にはアルコール消毒は効かない。次亜塩素酸(ハイターなど)か煮沸消毒が有効。
- ・嘔吐物や便は乾燥するとウイルスが空気中に漂い、そこから感染することがある。嘔吐物や便はできるだけ早く処理し、処理後は十分に換気を行うようにする。
- ・水分補給は嘔吐がおさまってから。※大人に比べて子どもは脱水になりやすく、水分補給は重要。しかし嘔吐後間もなく水分を与えてしまうとまたすぐ吐いてしまう為、嘔吐がある場合は1~2時間様子を見て、その後吐かなければ白湯などから少しずつ水分補給するようにする。
- ・症状が落ち着いた後も、便中には3週間ほどウイルスが排出される為、オムツ替え時はできれば使い捨ての手袋を使用し、処理後の手洗いをしっかり行うようにする。

